

なると環境スクール活動報告書

学校（園）名		鳴門市撫養幼稚園		
活 動 実 績				
項目	実施内容	時期	対象	備考
○活動方針の説明 ・学級活動 ・集会	・各学級において、取り組み(活動方針)について説明を行った。 ・節電・節水について子どもたちにできることを知らせたり、話し合ったりした。	1月	全園児	
○取組等の掲示・保護者への周知	・今年度の活動方針等を玄関に掲示し、意識の高揚を図った。 テーマ 「環境にやさしい幼稚園づくりをします」 「自然環境に関心をもち、感性を育てる取り組みをしています」 ・今年度の電気・水道の使用量の比較を玄関に掲示し、意識の高揚を図る。	通年	保護者 全園児 職員	
○遊びの中で	・素材(紙・箱・カップなど)を使用可能な限り再利用した。それぞれを大きさや種類別に分け、収納場所を明示した。 ・ゴミの分別を徹底する。よくわかるように文字やイラストで表示した。 ・手洗い場・電気のスイッチの場所に、節水・節電の表示をした。 ・砂場遊びの水を花壇の水やりに利用した。 ・自然物を遊びの中でも積極的に利用し、自然が身近にある豊かさや、自然のすばらしさ、尊さを感じられるようにした。	通年	全園児 職員	
○節電	・冷暖房の使用については、気温や幼児の体調に配慮しながら、必要な時に使用するようにした。 ・必要のない照明のスイッチをこまめに切り、節電に努めた。	通年	職員 全園児	
○節水	・室内・室外の水道の蛇口の確認を施行した。	通年	職員 全園児	

○草ぬき・落ち葉集め	・園庭の草ぬき・落ち葉を集めて、遊びや焼いもに利用した。	秋	全園児 職員	
○栽培活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・季節の野菜(トマト・きゅうり・なす・落花生・さつまいもなど)づくりをして、自然の恵みに感謝の気持ちをもつとともに、自然への興味・関心を育てた。</li> <li>・収穫したものをわけて持ち帰り、食してもらうことで、家庭でも話題にあげられるようにした。また、園で調理してみんなで食べることで、より意識を高められるようにした。</li> <li>・一人一鉢で、花・野菜(アサガオ・ミニトマト・ラディッシュ・コスモス・チューリップ・パンジー)を植え育てた。</li> <li>・ゴーヤを育て、窓辺に緑のカーテンを作り、日光照射を和らげた。</li> </ul>	通年	全園児 職員 保護者	
○園外保育 (公園)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然物(木の実・落ち葉・花びら等)を拾って、遊び・製作に利用した。</li> <li>・公園で拾った自然物と園で育てたさつまいものつるを使ってリースを作った。</li> </ul>	7・8月 通年	全園児 職員	
○親子オリエンテーリング	<ul style="list-style-type: none"> <li>・親子で地域を巡り、人や自然とふれあいながら、地域のよさを感じたり、ゴミ拾いをしたり、地域美化への意識をもてるようにした。</li> </ul>	11月	全園児 保護者	
○プルタブ収集	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者・地域の方の協力を得て、プルタブを集めた。</li> </ul>	通年	全園児 保護者	
○ペットボトルキャップ収集	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者・地域の方の協力を得て、ペットボトルキャップを集めた。集まったキャップは、ワクチンを届ける支援としてトヨタへ持参した。</li> </ul>		全園児 職員 地域の方	

成 果

○ 昨年度の成果・反省をもとに、職員・全園児・保護者全員で活動に取り組んでいる。年長児になると、不要な電気のスイッチを切ったり、必要な水の量を考えて使ったり、遊びに使った水を植物の水やりに再利用するなど、生活の中で節電・節水が習慣化されてきつつある。年少児も、素材の使い方やごみの分別など、年長児や職員の姿を見ながら、生活や遊びの中で環境について少しずつ気づきが見られる場面も増えてきた。

- 実践活動をとおして、職員や保護者が節電や節水・環境について話題に出す機会が増え、子どもたちにも身近な話題となっている。大人の意識の高まりや積極的な働きかけが子どもの意識形成にもつながっている。

#### 次期計画への課題・問題点

- 一人ひとりの意識が成果につながると思うので、まず教師が取組への課題意識を常にもち、表示・掲示の工夫をすることで、子どもたちにも習慣づけられるように指導を重ねていきたい。
- 今年度は天候や現場状況の関係もあり、ぼうぐい山での腐葉土採取や堆肥作りができなかったが、園庭で集めた落ち葉を遊びや焼いもに利用したり、園外保育で行った公園で地域の自然にふれたり、公園で拾った自然物と園で育てたさつまいものつるを使ってリースを作ったりした。その時の状況に応じて保育を工夫して、環境にやさしい生活につながる活動をしていきたい。腐葉土採取や堆肥作りも来年度、状況を見ながら可能であれば実施できるよう計画に組み込んでいる。
- 保護者や地域の方々に協力をいただいているプルタブ収集・ペットボトルキャップ収集では、各家庭で貯まった分を各自園に持参する方法が定着している。今後も継続し、目標につながるような働きかけを工夫したい。
- 子どもに親しみやすい教材を積極的に取り入れたり、環境構成や言葉がけに工夫をしたりしながら、子どもたちとともに環境を意識した生活について考えられるようにしていきたい。

## 平成28年 実施状況報告書

### ○ 節電・節水（通年）

- ・ 戸外活動時など、必要のない時は、室内やトイレ、廊下等の電気を消す習慣がつくよう、教師が言葉がけをし、確認を忘れないようにした。
- ・ 冷暖房の使用については、気温と幼児の体調に配慮しながら、必要な時に使用するようにするとともに、冷暖房に頼りすぎず、自然の中での生活ができるよう、夏は木陰で遊んだり、パラソルを使用したり、冬はリレーやマラソン、なわとびをするなど、日々の保育を考えた。
- ・ 手洗いやうがい、水遊び等、必要なだけ水を出せるよう、子どもたちが気づいていけるように、また、子どもたちどうしても知らせ合えるように繰り返し指導をした。
- ・ 砂場遊びや水遊び等の残りの水を花の水やりに使用した。



### ○ 取組・電気使用量・水道使用量の掲示（通年）

- ・ 今年度の活動方針や電気・水道使用量の昨年との使用量を比較したものを、棒グラフにして玄関に掲示することにより、職員の意識の持続を図った。また、保護者には幼稚園の取組状況を知らせることができた。



### ○ 野菜の栽培（5月～8月・9月～12月）

- ・ 一人一鉢で、野菜（ミニトマト・ラディッシュ）を育てた。菜園畑では、キュウリ・ナス・ピーマン・枝豆・落花生・さつまいも等の野菜を植え育てた。収穫したものをわけて持ち帰り、家庭でも食してもらうことで、家庭でも話題にあげられるようにした。また、園で調理し、みんなで食べることでより意識を高められるようにした。
- ・ ゴーヤを栽培し、つるを利用して窓辺に緑のカーテンを作り、日光照射を和らげた。



### ○ 落ち葉集め・園外保育（秋）

- ・ 園庭の落ち葉（サクラ・イチョウ等）を園児と一緒に集めて、遊びに使ったり、焼いもに利用したりした。



- ・ 園外保育でうずしおふれあい公園に行き，地域の自然にふれたり，公園で拾った自然物をつかってリースを作ったり遊びに使ったりした。



## ○ 飼

育動物の世話  
(通年)

ダンゴムシ・  
シ・クワガタ

メダカ・カタツムリ・カブトム

ムシ・ゾウムシなどの生き物を飼育して世話をした。生き物について図鑑などで調べ，エサをやったり，住みやすい環境を整えて世話をしたりすることで，自然や生き物と一緒に生活していることや命について考えることができた。

## ○ 広告・牛乳パック等の素材収集と再利用 (通年)

- ・ 家庭に協力していただき，広告紙や牛乳パック，空き箱や包装紙，カップ等を収集し，教材として使用した。まだ使えるものは再利用することが定着してきている。

## ○ プルタブ・ペットボトルキャップの収集 (通年)

- ・ 新学期に，牛乳パックを再利用した収集箱を配布して，各家庭に収集を依頼した。集めて届けてくださる保護者や地域の方の協力も多く，定着している。集まったプルタブは車椅子を，ペットボトルキャップはポリオワクチンを届ける支援につながる。



鳴門市精華幼稚園

なると環境スクール活動報告書

学校（園）名		鳴門市精華幼稚園		
活 動 実 績				
項目	実施内容	時期	対象	備考
○活動方針の説明	○各クラスにおいて取り組み（活動方針）について説明を行った。	4月	園児	
○取り組み等の掲示	○活動テーマ等を玄関・廊下に掲示した。	4月	PTA 会員	
○園内外の環境把握 （遊びの中で）	○素材（空箱、空容器、用紙等）を集め、保育に活用した。 ・収納する場所を決め、大きさ・種類等に分けて園児が使いやすいようにした。	通年	園児 職員	
	○ゴミの分別の徹底 ・ゴミ箱の分別表示を詳しく明示した。			
	○エコキャップ運動 ・玄関に模造紙大のパネルやキャップを入れる箱を設置し協力を呼びかけた。			
	○手洗い場・電気スイッチの場所に節水・節電の表示をし意識化に努めた。	通年		
	○休業日前には戸外の水道の元栓を閉めるようにし、漏水防止に努めた。			
○草抜き・木の葉集め	○園庭の草抜き・落ち葉集めをして、腐葉土を作り、栽培に利用した。	夏～ 秋	園児 保護者 職員	
○飼育栽培活動	○季節の野菜作りをして、自然の恵みに感謝し食物を大事にするとともに食育への興味・関心が高まるようにした。 ・玉葱やさつまいもを園庭の畑で栽培し収穫をした。 ・キュウリ・なす・ピーマン・オクラ等を各保育室テラスで栽培し、収穫の喜びを味わった。 ・一人一鉢で、花・野菜（アサガオ・トマト・ひまわり・コスモス等）を植え、植物への興味をもてるよう努めた。			
	・ゴーヤを育て、室内温度を少しでも下げるように保育室の日よけとしし節電に努めた。	7月		
○EM だんご投入	○環境美化に取り組む地域の方より、川や池をきれいにするために4年生と作って	7月	老人会 園児	

○園外保育 (公園, 妙見山, 消防署 等)	<p>いる EM だんごを園舎の前に流れる川に投入した。</p> <p>○近所の公園・中学校・小学校等へ行き, 自然に触れて遊び豊かな感性を養う。また, 自然物(木の実・落ち葉等)を拾い, 遊びや製作に使用した。</p> <p>○親子で秋の自然を楽しみながら妙見山に登ったり, 地域散策をしたりする中で, ゴミ拾い等を行った。</p>	春～ 冬	小学生 園児 職員	
○節電	○使用していない保育室・職員室の照明器具や事務機器等をこまめに消し, 園全体で電気使用量を減らすように努めた。	10月	園児 保護者	
○節水	<p>○使用していない保育室・職員室の照明器具や事務機器等をこまめに消し, 園全体で電気使用量を減らすように努めた。</p> <p>○水の大切さを伝えるために絵本, 紙芝居, ポスター等を活用し, 大切に使うことを考える機会とした。</p> <p>○手洗いうがい・歯磨きなど, 生活の具体的な場面を通して, 必要のない時には一旦水を止めるなど, 水の使い方について指導した。</p> <p>休日前には, 水道の元栓を確認した。</p>	通年	園児 職員	

成 果

- 水・電気・素材等に対し, 「もったいない」という意識や自然を大切にしたいという思いをもち, 継続的活動ができるように, 行事等を利用し, 親子でエコ活動について考えたり取り組んだりできるような指導に努めた。この実践をきっかけに環境に対する意識が次第に高まってきている。
- 地域の老人会の方が8~9年前より, 園舎の前に流れている川の汚染防止のためにEMだんごを作ってくださっている。今年は実際にEMだんごを投入することにより, 川をきれいに保とうとする意識の芽生えにつながった。EMだんごの投入によって川の透明度や悪臭に改善が見られ, 魚の姿が確認できるようになり, 川の生き物も増えてきている。特にカニの生息が顕著に広がり, 夏になると, 園児たちが園舎内外でカニに触れることができ, 豊かな自然体験ができている。
- エコ・キャップ運動も今年で6年目となり定着している。地域の方の協力もあり登園時に親子でキャップを入れている姿が多く見られ, 各家庭においてできることから取り組んでもらえるようになってきている。
- 園児・保護者・職員全員の節電・節水への意識が高まり, 必要に応じた使用が定着しつつある。

次期計画への課題・問題点

- 職員の意識が幼児一人ひとりの意識につながるということを実感している。今後も職員が率先し, 節電や節水等への意識を強くもって行動に移していきたい。また, 園舎内外の環境を把握して, 表示・掲示等の工夫をしたり, 保育活動に具体的に取り入れたりして実践をすすめていきたい。
- 環境学習は家庭との連携が必要である。そのために, 親子で環境学習をする機会を設け, 家族でより一層活動に関心をもてるように啓発していきたい。

## 平成28年度 なんと環境スクール 活動・実践報告

### 「ゴミの分別について」

○ゴミの分け方を詳しく表示することで、子どもたち自身も確認しながらゴミを分けて入れるようになりました。



燃えるゴミだよ！

新聞紙はどっちだったかな？



### 「節水について」

○手洗いや歯磨きの際にポスターを見て、節水の意識が高まってきています。「もったいないよなあ」と友達と伝え合いながら、水を止める姿も見られるようになってきました。



### 「素材置き場の整理をし、廃材での遊びを充実」

○階段下のスペースを利用して、素材置き場を作っています。子どもたちも自分で持ってきた素材を分けて置いたり、分けてある素材から使いたいものを探したりしています。また、各保育室においても素材を使いやすいように分けています。



私は牛乳パック

どれにしようかな？





## 「エコキャップ運動」

○エコキャップ運動が定着し、登降園時に、たくさんの家庭から集めたキャップを持ってきてくれるようになりました。また、子どもたちの家庭だけでなく、話を聞いた子どもたちの祖父母や知り合いの方等も協力して集めてくださり、運動が広がってきています。(キャップを入れる容器も工夫して作りました。)



## 「園庭の畑で栽培した玉葱・サツマイモ等の収穫」

○園庭の畑で玉葱・サツマイモを栽培し、収穫の喜びを味わいました。また、年長児が焼き芋パーティーを開き収穫したサツマイモを使って、お世話になっている地域の方や年少児を招待しました。自分たちで野菜を育てたり料理したり、たくさんの方に喜んでもらう嬉しさを感じていました。

たくさん採れて  
嬉しいな



いつもお世話になっ  
ている地域の方も招  
待しました。

## 「花壇や自分の鉢で季節の野菜や花を育てたよ」

○年間を通して季節の野菜や花を育てました。登園後に様子を見たり水やりを欠かさずに行ったりして愛情を込めて育ててきました。苦手な野菜も自分で育てたものは、食べることができました。







大事に育てよ


## 「EM だんごで川がきれいになったよ」

○老人会の方に EM だんごをいただき、園舎前の川に投入しました。その後で川の様子を確認したり、「川がきれいになったよ」と友達と話したりする姿が見られました。



なると環境スクール活動報告書

学校（園）名		鳴門市黒崎幼稚園		
活 動 実 績				
項目	実施内容	時期	対象	備考
○活動方針の説明	○ 各クラスにおいて、活動方針について話し合った。 ・自分たちでできることについて話し合う。	4月	園児・職員	
○ごみの分別	○ 燃えるごみ・プラ・燃えないごみの分別をした。 ・よくわかるように文字やイラストで表示した。	通年	園児・職員	
				
○節電	○ 幼児の体調や気温に応じて冷暖房の調節をしたり、こまめに電気を消したりして節電に努めた。 ・ゴーヤやあさがおを植え夏の光を遮断し、緑のカーテンを作る。	通年	園児・職員	
	 			
○節水	○ 手洗いの後、きちんと栓を閉める。 うがい、歯磨きの時に水を出しっぱなしにしない。砂場遊びなどに使った静水で水やりをする。	通年	園児・職員	
				

<p>○栽培活動</p> <p>○健康な体作り</p>	<p>○ 毎月の電気と水道使用量を明示したグラフを掲示した。</p>  <p>○ 夏野菜やラディッシュなどの栽培活動を通して、収穫したり，食べたりすることで，身近な自然に関心を持ち取り組むことができた。</p> <p>○ 天気のいい日には，戸外で元気よく遊んだ。サッカー・ラグビー教室など体を使った遊びにも参加することで，寒さに負けない体作りを行った。</p>	<p>7.8 月</p> <p>12月</p>		
-----------------------------	---	-----------------------------	--	--

**成 果**

- 保育室を出るときにスイッチを消したり，室内の明るさにより点灯しなかったりなど，こまめに電気を消すことが習慣となってきた。また，水道の栓をきちんと閉めていないことに気づいた幼児が，きちんと閉めなおすなど，節電・節水の意識が高まってきている。
- 園外保育に園周辺の散策や公園で遊ぶなど，地域の身近な自然に触れたり，季節に応じた野菜や果物の栽培活動を通して，自然環境の大切さに気づいたり，環境に優しい生活について考えたりする機会となった。

**次期計画への課題・問題点**

- 園での取り組みが家庭へとつながるよう園だよりや参観日などを活用していく。
- 電気使用量は，節電に対して意識を高められるように話し合ったり，電気は声をかけ合って消したりするなどの取り組みを強化していく。
- 活動が幼児の主体性を生かした物になるよう，指導や援助を工夫したり，今後の活動内容の改善に努めたりしていきたい。

なると環境スクール活動報告書

学校（園）名		鳴門市桑島幼稚園		
活 動 実 績				
項目	実施内容	時期	対象	備考
○ 節電	○ 保育室やリズム室を出るときにはスイッチを消すことを心がけた。	通年	全園	
	 <p>○ クリーンセンターからゴーヤの苗をいただき、緑のカーテンを実施し、節電に心がけた。</p> 	夏期	全園	
○ 節水	○ トイレの水タンクのレバーがきちんと元の場所に戻るように、ビニールテープを貼って、停止位置を知らせることを継続し、節水を心がけた。	通年	全園	
				

	<p>○ 砂場の道具を洗った後の水を園庭の樹木の水やり利用した。</p> 	通年	全園	
○ ゴミ箱の表示	<p>○ 各クラスのゴミ箱に“もえるもの”“プラスチック”などの表示を統一して貼り、子どもたちが片づけやすいように環境を整えた。</p> 	通年	全園	
○ 自然環境の美化	<p>○ 遠足など、園外保育に出かけたときには、自分のゴミは自分で持ち帰ることを徹底した。</p>	園外 保育 時	全園児	
○ 園庭の美化	<p>○ 子ども一人一鉢の世話をし、大切に育てたり、園庭の草抜きや落ち葉拾いをし、園庭環境の美化に努めた。また、11月には園庭の落ち葉を大切に集め、落ち葉遊びを取り入れた保育を実践した。</p> 	通年	全園	

<p>○ 視聴覚教材の活用</p>	 <p>○ 紙芝居や絵本の読み聞かせをおし、子どもたちの環境への興味関心を深めたり、節電などのエコへの意識を高めたりした。</p>  	<p>通年</p>	<p>全園児</p>	
<p>成 果</p>				
<p>○ 昨年度から継続して、砂場道具を片付けた後の水を園庭の樹木の水やりに再利用する習慣が年長児に定着しており、年長児が率先してジョーロやバケツで水をやる姿が年少児へのよいモデルとなっている。また次年度へと引き継がれていくことが期待できる。</p> <p>○ 子どもたちに手洗い・うがいの指導をすると同時に、水の大切さについて知らせたり、水道の蛇口の開け閉めについて話しあったりすることにより、子どもたちが水の大切さに気づき、水の出しっぱなしをせず、蛇口をきちんと閉めようとする節水の意識が高まった。</p> <p>○ 一人一鉢の世話や園庭の清掃をおし、自分の園をきれいにしようとする美化意識が高まったり、落ち葉遊びをしたことによって、期待をもってみんなで落ち葉集めをしようとしたりする姿が見られた。</p> <p>○ 教師自身が、園庭で遊ぶときなどは保育室の電気を消すなどの節電を心がけ、子どもたちのモデルとなることにより、子どもたちの節電の意識を高め、子どもたちが自主的に電気を消し節電に取り組む姿が見られるようになった。</p>				

#### 次期計画への課題・問題点

- 環境教育をどのように保育に取り入れていくか、今後も指導計画を見直し、計画的に取り入れていく必要がある。
- これまでの取り組みに加え、次年度は教材準備や活動で余った画用紙の切れ端や折り紙の切れ端など、細かな資源を大切にす姿勢を示すことにも力を入れ、“もったいない”と思う気持ちや物を大切にしようという気持ちを育てるなど、資源の節約にも取り組んでいきたい。
- 節水・節電などについては教師間で話し合い、再度点検をしながら節水・節電に取り組む必要がある。
- 保育参観・園外保育などの機会をとおして、保護者や地域との連携を大切にし、共に地域の環境への関心を深めたり、エコの意識が高まったりするよう、啓発を図る必要がある。

鳴門市第一幼稚園

なると環境スクール活動報告書

学校（園）名		鳴門市第一幼稚園		
活 動 実 績				
項目	実施内容	時期	対象	備考
○活動テーマの徹底	○ 職員会において、職員が率先して環境問題に関心をもち、節電や節水・ゴミの分別・リサイクルを引き続き行うこと等、活動方針について確認した。	4月	職員	
	○ 幼児にも“もったいない”の精神が定着することを願い、活動方針を日常の保育の中に取り入れて教師がモデルとなり動いたり伝えたりした。またエコやリサイクルなどに関する絵本や紙芝居などの視聴覚教材を意識的に取り入れた。（「リサイクル工作図鑑」「もったいないばあさん」「スイッチにんじゃ」など）	通年	職員	写真①
○重点目標の掲示の継続	○ 活動の重点目標を職員室のよく見える位置に継続して掲示した。	4月	職員	
○園の自然環境を生かした保育の実施	○ 園庭のサクラ・フジ・ビワ・ヤマモモ・フェイジョア・センダン・クスノキなどの樹木の花や実を保育に取り入れ、四季折々の草花に触れて遊ぶ体験を重ねた。	通年	全園児 職員	写真②
	○ 園庭や花壇の草抜き・落ち葉ひろいを朝の活動に取り入れ、幼稚園の環境を整えた。	通年	全園児 職員	写真③
○園外保育や散歩の実施	○ 金比羅神社に出かけ、秋の草花や木々を見たり、落ち葉拾いをしたりすることで自然の変化に気づいたり、身近な秋の自然を感じたりしながら歩いた。	11月	全園児 職員	写真④
○資源の節約	○ 色紙・画用紙などの工作用紙類の無駄をなくし、切れ端も活用した。	通年	職員 全園児	写真⑤
	○ 配付資料は両面印刷をした。裏面が利用できる用紙は再利用した。	通年	職員	
○ゴミのリサイクル	○ 家庭から持ち寄った牛乳パックや空き箱、ペットボトルなどの身近な素材を使い、製作を楽しんだ。	通年	全園児	
	○ 落ち葉・花びらなどを木の根元に集めて堆肥化させ、花壇等に利用した。また、焼	通年	職員	



○節電	<p>き芋をする時に、子どもたちが園庭の落ち葉を拾い集め、焼き芋時に活用した。</p> <p>○ スイッチに“節電”の表示を継続し、使っていない場所の照明をこまめに消したり玄関の照明を落としたりするなどした。また、幼児も教師の節電する姿を見ることから、自分も消してみようとする。</p>	通年	全園児 職員	写真⑥
○節水	<p>○ 水道水を、出したままでうがいをしたり歯磨きをしたりしないような指導や、出ていることに気づいたら誰でもがすぐに止めるという指導を続けてきた。</p> <p>○ 給食後に牛乳パックを洗う時、水の無駄なくきちんと洗えるよう、洗い方を写真で表示し、子どもたちに知らせた。</p> <p>○ 砂場で遊んだ後、遊具を洗った水を園庭の花への水やりに再利用した。</p>	通年	全園児 職員	写真⑦
		通年	全園児 職員	写真⑧

#### 成 果

- 昨年度に引き続き、砂場遊びの後片付けで、洗い桶に残った水を花の水遣りに再利用することが習慣化できた。年長児が率先してバケツで水を花壇へ運ぶ姿が年少児へのよいモデルとなっており、また次年度へと引き継がれていくことが期待できる。
- 教材準備や活動で余った画用紙の切れ端や折り紙の切れ端など、細かな資源を大切にする姿勢を示してきたことで「これはまだ使えるなあ」など、幼児なりに“もったいない”と思う気持ちや物を大切にしようという気持ちが芽生えつつある。また、形を変えて再利用しよう工夫する教師の姿が、幼児の製作の幅を広げることに繋がった。
- 積極的に園外へ出かけていく機会を設けてきたことで、家庭では体験しにくくなっている自然とのふれあいを楽しんだり、地域の良さを発見したりすることができ、身近な自然に対する愛着心が育ってきている。また園庭の豊かな自然を教材として取り入れる中で、季節の変化を感じたり、食べる喜びを味わったりすることができた。
- 全園児が一緒に草抜きをすることにより、草と花を見分けることができるようになり、花壇の花を大切にしようとする気持ちを育むことができた。また、落ち葉ひろいをすることにより、園庭をきれいにする喜びを味わい、「自分たちの幼稚園をきれいにしよう」と主体的に活動する姿が見られるようになった。

#### 次期計画への課題・問題点

- ゴミを出す際に、出す袋の数が多くなりがちであったので、教職員で協力しながら、適切なゴミの分類とゴミの減量化に努めていきたい。また園外へ出かけた際には「来た時よりも美しく」を合い言葉に、教職員が率先してゴミを拾うなど地域社会での活動も広げていきたい。
- 節電・節水については、職員一人ひとりが無駄のないよう節電・節水を心がけ、実行していきたい。また園の施設をこまめに点検し、異常があればすぐに修繕をお願いするなどの体制が必要である。



① 『もったいないばあさん』の絵本を見る幼児たち。自分たちの生活に照らし合わせながら、エコについて考



③ 熊手やちりとりを使って掃除をする幼児たち。葉っぱの数を数えたり、色の変化に気づいたりしながら、園庭をきれいにする喜びを感じています。



⑤ 壁面環境で使用した画用紙の端切れなどを製作遊びに利用しました。作りたいものに合わせて色や大きさを選び、遊ぶものや友達へのプレゼントを作ることに使っています。



⑦ 必要な分だけ水を出して、手洗いやうがい、歯磨きをする幼児たち。出しっ放しになっているのを見つけたら、「もったいない」とすぐに止めに行く姿が見られるようになってきました。



② 木の実や枝、落ち葉など、秋の自然物を使いケーキ作りをしています。『誕生日ケーキ』や『うさぎのケー



④ 園外保育では金毘羅神社に出かけ、身近な秋の自然を体いっぱいと感じました。神社ではドングリを拾い、持ち帰って遊びに取り入れました。



⑥ 落ち葉ひろいで集めた落ち葉を、やきいもに使うために貯めておきました。力を合わせて運んでいます。



⑧ 砂場の道具を樋に溜めた水で洗った後、残った水をバケツで花壇に運ぶ幼児たち。樋に残った砂も丁寧に手で取り、砂場に戻します。

# 鳴門市里浦幼稚園

## 平成28年なると環境スクール活動報告書

学校(園)名		鳴門市里浦幼稚園		
活 動 実 績				
項目	実施内容	時期	対象	備考
○ 園周辺の環境観察	○ 園外保育を通して自然の様子や草花・虫の様子を観察し、自然を大切に作る心を育てた。	4月	全園児	
○ 園庭でのサツマイモ・ダイコンの栽培活動	○ 年間を通して、緑あふれる環境づくりに努め、保護者の協力を得て、サツマイモやダイコンの栽培活動をした。また、収穫物を家庭に持ち帰り、家族に収穫した喜びを伝えたり、自分たちで育てた野菜を味わったりした。 ○ 焼きいもパーティーの後の灰を畑に返し肥料として活用した。 ○ ゴーヤの苗をいただき緑のカーテン事業に参加し、暑さ対策に努めた。	5~2月	全園児 職員	保護者の協力
○ ゴミのリサイクル	○ ゴミの分別とリサイクルに努めた。 ○ ダンボール・ペットボトル・牛乳パックなどを遊びに活用した。遊んだ後は、資源ごみとして返却したり、回収団体に出したりした。 ○ 生ゴミの減量を行うとともに給食の食べ残しが少なくなるように指導した。	夏	職員	
○ 節電	○ 園全体で、使用量を減らすよう心がけ、必要でない時はこまめに電気を消したり、長期休業日中にはコンセントを抜いたりすることを心がけた。	通年	全園児 職員	
○ 節水	○ コップ1杯の水での歯磨き運動を実施し、子どもたちが意識して水を大切に使えるよう指導した。 ○ 遊びで使った水を花の水やりに使用した。 ○ メーターを記録し漏水の発生を抑えた。		全園児 職員	
成 果				
○ 年間を通して、緑あふれる環境づくりに努め、保護者の協力を得て、サツマイモやダイコンの栽培・世話・収穫を経験することができた。また、季節に応じた野菜や果物の栽培などを通して、自然環境の大切さに気づいたり、環境に優しい生活について考えたりする気持ちが育ってきた。				
○ コップ1杯の水での歯磨きが定着してきた。砂場遊びなどで遊んだ後も、残り水を栽培物や樹木の水やりに使うなどしながら、水を大切に使う様子が見られる。				
○ 家庭からいらなくなった空き箱などを持ってきたり、集めてきた自然物を遊びに使った				

り、小さな紙片まで無駄にせず使おうとしたりするなど、資源を大切にしようとする気持ちが育ってきている。

- 職員が自然や資源を大切にすることで、子どもたちの意識も変わってきた。また、年長児がよい見本となり、年少児に伝えている姿もみられる。
- 土のリサイクル活動を通して、新しい土の購入が減少し、その分を環境に優しい肥料購入にあてることができた。

#### 次期計画への課題・問題点

- 紙芝居や絵本を通して、環境問題を具体的に知らせると共に、より身近に感じて取り組んでいけるように工夫する。
- 多くの幼児が水を大切に使おうとしているが、水の出し過ぎや閉め忘れに気づかず生活している姿も見られる。一人ひとりが意識して水を使えるように引き続き指導を続けたい。
- 電気の利用については、職員間で話し合い共通理解のもと節電に努めるようにする。
- 活動が幼児の主体性を生かしたものになるように、指導や援助を工夫したり、今後の活動内容の改善につなげたりしていく。
- 保護者や地域の方々への啓発を積極的に行い、家庭からも子どもたちに資源の大切さや自然を大切にすることを伝えてもらえるようにしたい。

**園独自の特色ある活動**  
**「サツマイモ・ダイコンの栽培活動・食育への取り組み」**

1 ねらい

- 地域の特産物であるサツマイモ・ダイコンの栽培を通して、身近な草花や野菜に興味を持つ。
- 保護者の方から育て方を学びながら、苗植え・水やり・収穫等を経験することで、自然を大切にする心を育てる。

2 計画

項目	実施内容	実施時期	備考
イモ苗植え	・一人ずつ芋苗植えをする。	5月25日	本部役員・施設委員 園児・職員
イモ掘り	・芋掘りを経験する。	10月7日	本部役員・施設委員 園児・職員
畑の整地 うね作り	・焼きいもをしたり、給食に利用して、おいしくいただく。		
ダイコンの種まき	・2粒ずつダイコンの種をまく。	10月8日	施設委員長
製作	・親子でリース作りをする。	10月15日	施設委員長 園児・職員
クッキング	・1年生と一緒に焼きいもパーティーをする。	11月2日	保護者・園児・職員
ダイコンの収穫	・ダイコンの収穫をする。 ・家庭へ持ち帰ったり給食に利用したりする。	11月18日	1年生・園児・職員
		2月	本部役員・施設委員 園児・職員

**サツマイモの栽培・食育の活動**



芋苗植えやいも掘りは、施設委員の人達が手伝ってくれ、いろいろなことを教えてくれた。一年生とも一緒に掘ったり、つるや葉っぱを使ってリースを作ったりする。自然物を大切に扱う姿がみられた。



幼稚園で収穫したさつまいもを給食室に持っていき調理していただく。

自分たちで作ったおいもは甘くておいしく、給食時の残飯が少なくなった。



芋づるを使っておうちの人と一緒にリースづくりをした。

廃材や自然物の利用を心がけた。

## ダイコンの栽培の活動



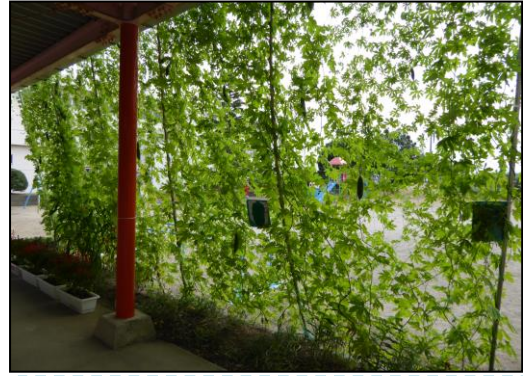
施設委員長さんから大根の生長過程について話を聞いたあと、小さい種を落とさないように気をつけて、種をまいた。来年の収穫を楽しみに世話を続けている。



# 活動内容



玄関に、環境問題への取り組みや、水道電気使用量のグラフを掲示し、保護者・地域の人達への啓発や職員の意識の高揚に努めている。



ゴウヤの栽培活動を通して、食育や暑さ対策に取り組んだ。ゴウヤは、家庭へ持ち帰り、調理方法も知らせた。



節水や節電について表示し、コップ1杯のはみがきや水を止めての手洗い・こまめに電気を消すことなどに努めている。年長児や教師の姿勢がよい手本となっている。



ごみの分別についてわかりやすいように、ごみ箱に絵や文字を貼り、話し合いをした。ごみを捨てる時には、幼児自身が分別を意識して捨てるようになった。

なると環境スクール活動報告書

学校(園)名		鳴門市鳴門東幼稚園		
活 動 実 績				
項目	実施内容	時期	対象	備考
○ 花や環境の 美しさを感じる。	○ 園外保育や遠足に行き、道端や花壇の花・紅葉などの美しさを見たり、公園や施設をきれいに使ったりした。	5,10,11月	全学年	
	○ プランターや植木鉢に花や球根を植え、栽培活動をとおして花の美しさや育てる楽しさを感じることができた。	5~12月		
○ 食物を大切に にする。	○ 竜宮の磯に出かけ、砂浜で遊んだ。	5月	全学年	
	○ キュウリ・ミニトマトを植え、育てた。	6月		
	○ さつまいもの苗を植え、育てた。	6~11月		
	○ キュウリやミニトマトを育て収穫して、幼稚園で友達と食べたり、家に持ち帰って家族と食べたりした。	6~7月		
	○ 二十日大根・レタス・ブロッコリーを植えた。	10月		
	○ さつまいもの収穫をし、くきで遊んだりつるでリースを作ったりした。	11月		
○ 清掃をする。	○ さつまいものを焼き芋にいただいた。	12月	全学年	
	○ 二十日大根・レタス・ブロッコリーなどの収穫をした。	6月		
○ 節水する。	○ 「リフレッシュ瀬戸内」で、小学生とともに竜宮の磯に出かけ、地域の方々と一緒に海岸清掃をした。	通年	全学年	
	○ 園庭のゴミや草・枯れ葉などを拾い、美化に努めた。	通年		
○ 節電する。	○ 歯磨きやうがいをする時には、水を止めてするようにし、水を出し過ぎないようにした。園全体で1%水道使用量を減らすよう努力をした。	通年	全学年	
	○ 砂遊びの後、道具を洗った水をバケツで花や野菜にやり、有効に利用した。			



○ ゴミの分別をする。	○ 使用しない時には、保育室・廊下・玄関等の電気を消すようにした。園全体で1%電気使用量を減らす努力をした。 ○ 燃やせるゴミ・燃やせないゴミ・プラスチックのゴミと分けて捨てている。	通 年	全学年	
-------------	--	-----	-----	--

**成 果**

- 6月には、地域散策や園外保育に出かけたり、11月には地域への園外保育・潮明寺にも出かけたりした。10月には小学生と一緒にはさぬきこどもの国へバスで遠足に行った。公園や施設の使い方を知らせ、きれいに気持ちよく使用した。途中で出会った方や施設のお世話をしてくださった方にあいさつをしたり、ごみを拾ったりして帰ってきた。また、季節の花や紅葉した木々を見たり、どんぐりや木の実を拾ったりして自然にふれた。公共の施設を使うマナーを学ぶとともに、自然を含めた環境にふれ、美しさや驚き・心の癒しなどを感じたようである。また、自分で植えた植物の世話をすることで、大きく成長したり、花が咲いたりすることに喜びを感じている。
- 食物を植え育て、収穫し、それを食べることで、自分が育てた野菜に愛着をもち、大事にしようという気持ちが芽生えた。食に対して前向きな姿勢が見られるようになり、保護者も喜んでいた。
- 常に自分たちが生活しているところをきれいにすると気持ちがよいことを意識づけることで、子どもたち自身から「きれいにしよう」という気持ちが出てきて、自主的に清掃するようになってきている。また、「リフレッシュ瀬戸内」でも地域の海岸の清掃をすることで、自分たちの力できれいになるという経験をしている。
- 節水・節電・ゴミの分別については、「なくなったら困る」「もったいない」などの気持ちができてきた。紙やビニールなどの資源についても、「どのようにしたらまだ使えるか」や「リサイクルしたら得をする」ということを伝えることで、環境に対する意識ができつつある。

**次期計画への課題・問題点**

- いろいろな環境にふれる機会がもてるように、園外保育をもう少し増やしていく。
- 子どもたちが栽培しやすく、収穫の喜びをより感じられるような野菜を選び、食物に興味や関心をもてるようにする。
- 節水・節電・ゴミの分別は継続して、よりいっそう取り組み、使用量を減らしていきたい。

※ 環境学習・環境保全の状況報告書及び光熱水費の使用状況報告書を添付のこと（書式自由）

## なると環境スクール活動実施状況報告書

### 活動内容報告

#### 1 花や環境の美しさを感じる。

園外保育や遠足に行き、道端や花壇の花・紅葉などの美しさを見たり、公園や施設をきれいに使いゴミを拾ったりし、公共の施設を使うマナーを学ぶとともに美しさを感じる感性を養うことにつなげた。



#### 2 食物や花を大切にする。

キュウリ・ミニトマト・ピーマン・さつまいも・レタス・ブロッコリー・二十日大根にんじんなどを植え、収穫を楽しみにしたり、花を育て開花を喜んだりした。植物を育てていくことにより、命の大切さを知ることができ、責任感や充実感も養われ、大切にしようという気持ちを育てることにつなげることができた。



#### 3 清掃をする。

5月31日、小学生と一緒に竜宮の磯に出かけ、市役所や地域の方とともに海岸の清掃を行った。海岸で清掃の仕方や環境を守ることの大切さについての話を聞いた後、教師とともに清掃活動に取り組んだ。また、日常の幼稚園生活で、教師が保育室や園庭を清掃しているのを見たり、教師とともに清掃したりするなかで、生活する場をきれいにしようとする意識が芽生え、自らゴミや草・枯れ葉などを集め、清掃するようになってきている。



#### 4 節水をする。

手洗い場・トイレ付近に「みずをたいせつにしましょう」「だしっぱなしはやめましょう」「みずがでていないかたしかめましょう」などの表示を貼ったり、手洗いや歯磨き・うがいをする時には水を止めてするように、常に声をかけたりしてきた。また、水を出し過ぎないようにも注意を促してきた。子どもたちも意識するようになっている。

毎月の水道使用量を記録し、保育室の前に掲示することで保護者にも意識してもらっている。



#### 5 節電をする。

電気のスイッチ付近に「でんきをこまめにけしましょう」「でんきをたいせつにつかいましょう」などの表示を貼ったり、教師がこまめに電気を消したりすることで、子どもたちの節電意識を高めている。

毎月の電気使用量を記録し、保育室の前に掲示することで保護者にも意識してもらっている。



#### 6 ゴミの分別をする。

ゴミの分別についてわかりやすいように、ゴミ箱に絵や文字を貼り、話し合いをした。また、空き缶・段ボール等のリサイクルについて、紙芝居や絵本をとおして知らせた。



なると環境スクール活動報告書

学校（園）名		鳴門市成稔幼稚園		
活 動 実 績				
項目	実施内容	時期	対象	備考
○ 活動説明	○ 視覚を通して、ゴミの分別や水の使い方、電気の節約について知らせた。	4月	全園	
○ ゴミのリサイクル	○ 燃やせるゴミやプラスチックなど、ゴミの分別を行った。	通年	全園	
	○ P T A活動の資源ゴミ回収に参加し、保護者ととともに地域の資源ゴミの整理をした。	年4回	職員	
	○ 園内の資源ゴミを地域の資源ゴミステーションに分別した。	通年	職員	
○ 緑化	○ 花の苗や球根を植えて育てた。	通年	全園	
○ ものを大切に する（紙、廃材 など）	○ 給食時のデザートや容器や家から持ってきた廃材を製作に活用した。	通年	全園	
	○ まだ見えそうな紙などは、分別して再利用するよう指導した。	通年	全園	
○ クリーン活動	○ 園庭の除草やゴミ・石拾いを行った。	通年	全園	
	○ ゴーヤを植えて陰をつくり、室内温度の上昇を抑えた。	6月～ 9月	全園	
○ 節電	○ 必要な箇所の照明を使うようにしたり、部屋を離れるときにはこまめに照明器具を消すようにしたりするなど節電を心がけている。	通年	全園	
	○ 手洗いやうがい、歯磨きの時など、水を出しっぱなしにせず、水道の栓をこまめに閉めるよう表示したり指導したりした。表示は、絵本などで子どもたちに馴染みのある「もったいないばあさん」を活用して作成した。	通年	全園	
○ 節水	○ ぞうきんを使用する時は、バケツを利用し、節水に努めた。	通年	全園	
	○ 月2回、水道使用メーターの記録を行い、職員の出勤時に水道の元栓を開け、退庁時には閉めて帰ることを徹底して、漏水の発生を防いだ。	通年	職員	
	○ 遊びに使った水をすぐ捨てずに花や	通年	全園	

○ ベルマーク 回収	植木の水やりを使用した。 ○ P T A 活動のベルマーク回収に参加 しており、牛乳パックやインク等の回収 を実施している。	年3回	全園	
---------------	---	-----	----	--

#### 成 果

- ・ ゴミの分別や素材の分類を子どもたちにわかりやすいように絵や文字で表示することで、子どもたちも自分たちで意識して「これもつたいないなあ。」「先生、これってまだ使える?」と考えて、片付けたりゴミを捨てたりする姿が見られた。
- ・ カップやペットボトル、新聞などの素材置き場として設置している空き部屋の配置を職員で検討し直し、幼児が自分で廃材を選んだり主体的に製作活動に取り組んだりできるよう廃材の種類を細かく分類して環境を整えた。幼稚園で、ものを大切にし、水や紙などの資源の大切さを教師が伝えることで、園で使用するために家庭で廃材を集めて持参する幼児が増え、家庭でも環境に目を向けた話し合いをしている様子が伺えるようになってきた。
- ・ 今年度も遊びの中でパンジーや千日紅、どんぐり、木の実など四季に合わせてさまざまな自然物を活用して遊ぶ楽しさを子どもたちに経験させることで、身近にある自然や資源を大切にしようとする気持ちを育てることにつながった。

#### 次期計画への課題・問題点

- ・ 本園の保護者や地域の人たちの協力により、資源ゴミ回収等は大変充実している。幼稚園でも資源や環境を大切に作る心が育つよう努力しているが、一部の保護者の中には意識が薄い人も見られるので、保護者への啓発を工夫し、意識高揚を図っていく必要がある。
- ・ 外気との温度差があるので、冷暖房の設定温度を考慮しながら、園児が健康で快適に生活できる環境づくりとともに、常に節電・節水を意識した生活を心がけたい。
- ・ 廃材や自然物を利用した遊びを充実させることで、子どもたちにもものを大切にする心や考え方を育てていきたいと考えているので、職員間で知恵を出し合い、取り組みを進めていきたい。
- ・ 電気使用量と水道使用量の掲示ができていないので、早急に取り組みたい。



### 【緑のカーテン】（ゴーヤ）

子どもたちと一緒にゴーヤの苗を植え、今年度も地域の方にご協力いただいて、立派なゴーヤ棚が出来ました。

### 【節水の表示】（「おみずのだしっぱなし もったいない もったいない」）

絵本「もったいないばあさん」を活用して、表示を作りました。子どもたちも「もったいないばあさんがくるよ。」と互いに声を掛け合って、節水を心がけています。



### 【素材置き場の分類】

素材置き場の整理をし、これまで以上に細かく分類し、子どもたちが遊びに使いやすいよう整理しました。廃材の特徴を生かしたり工夫したりしながら、作ることを楽しんでいます。

鳴門市明神幼稚園

なると環境スクール活動報告書

学校(園)名		鳴門市明神幼稚園		
活動実績				
項目	実施内容	時期	対象	備考
○物を大切にする	○ 色紙・画用紙など, 捨てる前に「まだ使えないかな?」と考えるようにした。	通 年	全園児	
○ゴミのリサイクル	○ 給食後, 食器に食物が多量に付着したまま片づけないように指導した。		全園児 全職員	
	○ 燃やせるゴミ・燃えないゴミ・プラスチックゴミの分別を心がけた。 (別紙 写真①)	通 年	全園児 全職員	
	○ 環境を守るマークに関心をもつようにした。		全園児 全職員	
	○ 家庭で出たペットボトル・空容器・広告等を遊びで再利用した。 (別紙 写真②)		全園児 全職員	
	○ 遊び終わったペットボトルは, 地域のゴミステーションに持っていった。		全職員	
	○ ミスプリント用紙をメモ用紙に活用した。		全職員	
○節電	○ 使っていない場所の電気を消したり, こまめにスイッチを切ったりすることを心がけ, 節電に努めた。 (別紙 写真③)	通 年	全職員 全園児	
	○ 電気使用量のグラフに赤色の矢印を付け, その月の使用量を意識するようにした。(水使用量も同様) (別紙 写真④)	通 年	全職員 全園児	
○節水	○ 歯みがきやうがいの時は, 水を出っぱなしにしないようにし, 節水に努めた。(別紙 写真⑤)	通 年	全職員 全園児	
○美化に努める	○ 園庭や園周辺の落ち葉を拾ったり, ほうきで集めたりして美化に努めた。 (別紙 写真⑥)	10月～ 12月	全職員 全園児	
成 果				

- 今年も、「なると環境スクール活動」に全園児・全職員で取り組んだ。水・電気・素材等に対し「もったいない」という意識や自然を大切にする思いで取り組みを続けているが、この実践活動をきっかけに環境に対する意識がだんだんと高まってきている。
- リサイクルできるものや分別について話し合うことで、園児が分別することの大切さを知り、進んで分別するようになった。
- 食べ終わった食器に食べ残しが付いたまま片付けるのではなく、付着しているときは「『集まれ』しよう（残った米飯や小さく切られた副食を集めてから食べる）。」と言ってきれいに食べてから片付けようとする気持ちももてるようになった。

#### 次期計画への課題・問題点

- 一人ひとりの意識が成果につながるということが取り組みを通して、だんだんと明らかになってきている。これからも、園舎内外の環境調査をして、表示・掲示等の工夫をしたり、保育活動に具体的に取り入れたりして実践していきたい。
- リサイクルや分別の大切さはわかっているが、全員の幼児が全ての場でできているとは言えない。そのため、どんな時でも全ての幼児が実行できるようにしていきたい。
- 食べ終わった食器に食べ残しが付いていることはいけない、ということはわかっているが、実行できにくい園児もいるため、全員がきれいに食べられるようにしていきたい。
- 本年度は地域のゴミ拾いを計画しながらも、行うことができなかった。次年度は計画的に時間を設けていきたい。
- 環境学習は家庭生活・地域住民とも大きなかわりがある。そのために、家庭教育学級での環境学習も必要と思われるので、親子で学習したり地域に働きかけたりして学ぶ機会も必要である。



## 活 動 内 容



① 燃やせるゴミ・燃えないゴミ・プラスチックゴミの分別を心がけた。



② 家庭で出たペットボトルや空容器・広告紙等を遊びに再利用した。



③ 使っていない部屋の電気を消したり、こまめにスイッチを切ったりした。



④ 電気・水道使用量のグラフに矢印を付け、月の使用量を意識するようにした。



⑤ 歯みがきやうがいの時は水を出しっぱなしにしないようにした。






⑥ 園庭や園周辺の落ち葉を拾ったり、ほうきではいたりして清掃をした。

鳴門市大津西幼稚園

なると環境スクール活動報告書

学校（園）名		鳴門市大津西幼稚園		
活 動 実 績				
項目	実施内容	時期	対象	備考
活動方針の説明	○ 各クラスにおいて、活動方針について話し合った。 ・自分たちでできる「資源を大切にできる」ことについて話し合い掲示した。	4月	園児・教師	
資源ごみ回収	○ 小学校と一緒に新聞紙・ダンボールなどを集めて、業者に取りにきてもらった。	6・12月	全家庭	
ごみの分別・減量	○ 燃やせるごみ・プラスチック・燃やせないごみの分別をした。 ・よくわかるように文字やイラストで表示した。 ・捨てる前に「まだ、使えないかな？」と考えたり、用途によっては小さい紙を使ったりした。	通年	教師  園児・教師	
節電 節水	○ こまめに電気を消したりしたり，幼児の体調や気温に応じてエアコンを調節したり，水を流しっぱなしにしたりしないなど，節電・節水に努めた。	通年	園児・教師	
栽培活動	○ 菜園でトマト・きゅうり・さつまいも・ブロッコリーなど四季に応じた野菜を栽培した。収穫したり食べたりすることで、身近な自然に関心をもち取り組むことができた。	通年	園児・教師	






<p>暑さ対策</p> <p>寒さに負けない体作り</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 食べ物が、自分の体の中でどんな力になるか知ることができた。</li> <li>○ さつまいもの収穫後、つるを利用してリース作りをした。</li> </ul>   <ul style="list-style-type: none"> <li>○ ゴーヤを育て、緑のカーテンを作った。</li> <li>・ カーテンの陰では、日向より涼しく感じられることに気づき、自然物を使った省エネの大切さを知った。</li> </ul>  <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 手作りうちわを作って、暑いときや戸外から帰ってきたときなどは、うちわで仰いで暑さを和らげた。</li> <li>○ マラソンやなわとびの時間を設けて、寒さに負けない体作りを行った。</li> </ul>	<p>11月</p> <p>7月・8月</p> <p>11月～2月（継続中）</p>	<p>園児</p> <p>園児・教師</p> <p>園児・教師</p>	
成 果				
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 保育室を出る時にはスイッチを消したり、室内の明るさにより点灯しなかったりなど、こまめに電気を消すことが習慣になってきた。また、水道の栓をきちんとしめていないことに気づいた幼児が、きちんと閉めなおすなど、節電・節水の意識が高まってきている。</li> <li>○ 集めてきた素材や自然物を遊びに使ったり、小さな紙も無駄にせず使おうとしたりするなど、資源を大切にしようとする気持ちが育ってきている。</li> <li>○ 季節に応じた野菜や果物の栽培などの体験活動をとおして、自然環境の大切さに気づいたり、環境に優しい生活について考えたりする一端となった。</li> </ul>				
次期計画への課題・問題点				
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ “限りある資源を大切にしよう”とする教師の姿勢が、子どもたちに大きな影響を与えることが実感できたので、引き続きそうした意識を持って取り組んでいきたい。</li> <li>○ 園便りやクラス便り、参観日やオリエンテーリングの機会を利用して、園での取り組みが家庭へとつながっていくようにしていきたい。</li> <li>○ 活動が幼児の主体性を生かしたものになるように、指導や援助を工夫したり、今後の活動内容の改善に努めたりしていきたい。</li> </ul>				



なると環境スクール活動報告書

学校（園）名		鳴門市堀江北幼稚園		
活 動 実 績				
項目	実施内容	時期	対象	備考
○ ゴミのリサイクル	○ 保育室やリズム室のゴミ箱等に、ゴミの分別について幼児がわかりやすいように絵や文字の表示をし、どのゴミ箱に入れるかを自分で考えるようにするとともに、各学級において活動方針について具体的に説明をした。	4月	全園児 職員	
				
	○ 空き缶やペットボトル、ダンボールの再利用やリサイクルについての話を聞き、自分たちで考え遊ぶものとリサイクルするもの、ゴミに出すものに分けた。	5月	全園児 職員	
	○ 落ち葉を園庭の隅や木の周りに集め、腐葉土にしたり虫の住み処にしたりして利用した。	通年	全園児 職員	
	○ 月1回の小学校との交流『あまがつ広場』を利用し、小学生に教えてもらいながら園児が園庭の除草やゴミ拾いを行った。	通年	全園児 職員	
				
	○新聞紙や広告、牛乳パックや空き箱などを遊びに利用しやすいように、素材入れの箱を用意した。使った後のものも、すぐに捨	通年	全園児 職員	

<p>○ 生ゴミの減量</p>	<p>てないで『まだ使えるもの』や『リサイクルに出すもの』に分けながら片付けるようにした。園児の分別しようとする気持ちが強くなった。</p> <p>○ 納涼祭の時の空き缶やペットボトルは、地域の回収ステーションへ出した。遊びの後のダンボールや古紙古本などは、地域の人の廃品回収に出してリサイクルに努めた。</p> <p>○ 大麻学校給食センターを見学し、実際に調理をしているところを見学させていただいたり栄養士の人に話を聞いたりした。「残さずにたくさん食べて大きくなってね。」「センターに返ってきた食缶が空っぽになっていたらうれしい。」ということ聞き、センターで働く人の思いがわかり、感謝の気持ちが強くなり完食をめざす園児が増えた。</p> 	<p>通年</p> <p>11月</p>	<p>全園児職員</p> <p>全園児職員</p>	
<p>○ 緑のカーテン</p>	<p>○ 絵本『もったいないばあさん』を一緒に見ることをとおして、食べ物などを大切にする気持ちを育てていった。</p>  <p>○ ゴーヤの苗を職員室窓際・保育室廊下窓際に植えたり、手作りのうちわで涼をとったりしてなるべくクーラーをつけないよ</p>	<p>通年</p> <p>5～9月</p>	<p>全園児職員</p> <p>全園児職員</p>	

<p>○ 節水</p> <p>○ 節電</p>	<p>う節電に心がけた。</p>  <p>○ 地域の人や小学生に教えてもらいながらサツマイモの苗植えや収穫をした。収穫後のツルを使い自分だけのリースを作り飾って楽しんだ。</p> <p>○ 砂場道具や色水遊び道具の片付けは、タライなどに水を溜め、洗うようにした。後の水は、植木や菜園の水やりに利用した。</p> <p>○ 片付け後や手洗い後、水道の栓が閉められているか、年長児が園庭のパトロールをして確かめるようにした。</p> <p>○ 園児が戸外へ出たときなど、保育室やリズム室の電気のスイッチを切るようにして節電を心がけた。</p> <p>○ なわとびやドッジボールなどの体を動かす遊びをとおして、体全体を暖めたり衣服の調節をしたりして、灯油や暖房の節約を心がけた。</p>	<p>6月 11月</p> <p>通年</p> <p>通年</p> <p>通年</p> <p>通年</p>	<p>全園児 職員</p> <p>全園児 職員</p> <p>年長児 職員</p> <p>職員</p> <p>全園児 職員</p>	
<b>成 果</b>				
<p>○ 自分たちで野菜を育てたり給食センターの人とかかわったりしたことで、食べ物への興味や関心が高まり完食をめざす幼児が増えた。また、落ち葉を集めて腐葉土や虫の住み処を作ったことや、地域の廃品回収を利用したことでゴミの減量や物を大切にしようとする気持ちにはつながったように思う。</p> <p>○ ゴミ箱などにわかりやすい表示をしたり分別やまだ使える物を考えたりすること、また、絵本『もったいないばあさん』を見ることで職員や幼児の気持ちに変化が見られた。</p>				
<b>次期計画への課題・問題点</b>				
<p>○ 降園後、園庭開放時に、水道栓がきちんと閉まっていないことがあった。保護者や幼児への働きかけをしていく必要がある。</p> <p>○ 幼稚園でなければできない仕事が多く、定時に帰宅できないことが多かった。もっと計</p>				

画的に進めるようにしていかなければならない。



平成28年なると環境スクール活動報告書

学校(園)名		鳴門市堀江南幼稚園		
活 動 実 績				
項目	実施内容	時期	対象	備考
○ 幼稚園周辺のゴミ拾い ○ ゴミの再利用 ○ 節水	○ 毎月、20日の学校安全の日に、幼稚園周辺のゴミ拾いをした。	通年	全園児 職員	
	○ 空き箱や空容器、ペットボトルなどを遊びの中で使い、再利用につなげた。	通年	全園児 職員	
	○ 砂場の道具を洗った後の水を花壇や菜園の水やりに活用した。	通年	全園児 職員	
	○ 手洗い場に「みずをたいせつに」と掲示し、園児が自ら気付いて行えるようにした。	通年	全園児 職員	
○ 節電 (栽培活動)	○ 園児がゴーヤを育てることで、保育室や廊下が過ごしやすい環境になることなど、エコに対する関心を高め、実践につなげた。	通年	全園児 職員	
○ 腐葉土づくり	○ 園舎内電気のスイッチをこまめに切ることを心掛けた。	通年	全園児 職員	
	○ 夏は、園庭の木陰等を利用して活動し、エアコンの利用を少なくした。			
	○ 冬は、運動遊びを多くすることで体力づくりを兼ねた暖房機器の節電に努めた。			
	○ 園庭の木々の枯れ葉を使ってどんぐりひろばで腐葉土を作り、花や菜園の土に活用した。			
成 果				
○ 子どもたちに、水を出し過ぎないように指導していったところ、効果が見られた。				
○ 今夏は猛暑・小雨が続き、使用電気量・水道使用量ともに昨年度より上回ってしまった。				
次期計画への課題・問題点				
○ 晴れた日は、室内の電気を消したり戸外の活動を多くしたりして、更に節電に努める。				
○ 腐葉土の活用で栽培活動が十分出来たので、次年度も続けていく。				
○ 1年間を通して栽培活動(食育を含む)を積極的に行っているため、水道使用量に関しては、節水に限界がきているように思われる。				



## 実施状況報告書

○ 園庭の木々の枯れ葉を活用してどんぐりひろばで腐葉土を作り、花や野菜を育てる。

実際に土に触れ花や野菜を育てることをとおして、植物の命の素晴らしさや不思議さを感じるとともに、命を育む土への関心も高まり、腐葉土づくりにつながった。昨年度作ってくれた腐葉土を使い、今年度花や野菜を育てた楽しさを思い出しながら、自分たちも腐葉土づくりに挑戦した。

一連の活動をとおして、花や野菜、木々の葉や土など、身の回りの自然の中で、自分たちもまた生活しているということを感じ性をとおして感じ取ってもらえたらと願い取り組んできた。



○ 手洗い場や保育室に、節水や節電を呼びかける掲示をし、幼児でもできる方法で自ら行おうとする態度や意識を育てる。「水道の蛇口を最後まで閉められない」など、幼児の実態に合わせ、どのような行動や気づきが節水や節電につながるのか幼児なりに考えたり話し合ったりする機会をもった。



- ゴーヤを育て部屋の室温を下げるとともに、収穫の喜びも味わう。






- 夏には木陰を利用して休息したり、冬には日向を見つけ遊んだり、遊びや生活の中で、自分たちでできる生活の工夫・季節に応じた過ごし方が、自然に経験できるように、保育の工夫をしてきた。



鳴門市板東幼稚園

なると環境スクール活動報告書

学校（園）名		鳴門市板東幼稚園		
活 動 実 績				
項目	実施内容	時期	対象	備考
<p>○ 活動方針の説明</p> <p>○ 行動項目及び使用量グラフの提示</p> <p>○ ゴミのリサイクル</p>	<p>○ 職員会で活動方針について具体的に話し合い、各学級で説明を行った。</p>	5月	全園児 職員	
	<p>○ 節電・節水を絵と文字で表示するとともに毎月の電気と水道使用量を明示したグラフを掲示した。</p> 	通年	全園児 職員 保護者	
	<p>○ 給食時の生ごみの減量を行う。</p> 	通年	全園児 職員	
	<p>○ ゴミの分別についてわかりやすいように、ごみ箱に絵や文字を貼り、話し合いをした。</p>  <p>○ 空き箱など廃材を利用して、製作活動を行った。</p>	通年	園児	
		通年	全園児 職員	

<p>○ 園周辺の環境観察</p>	  <p>○ 園外保育に出かけ、園周辺の公園や神社など、公共施設の環境について学んだ。ドイツ館内を見学したり、木々や虫の観察をしたり、木の実を拾ったりする。</p>  	<p>5月 11月</p>	<p>全園児 職員</p>	
<p>○ 節電</p>	<p>○ 全員が園庭に出た時など、保育室や廊下の照明器具をこまめに消した。 ○ 玄関に掲示し、保護者にも知らせた。 ○ 砂場の道具を洗った後の水を、花壇や菜園の水やりに活用した。</p>	<p>通年</p>	<p>全園児 職員</p>	
<p>○ 節水</p>	 <p>○ 水道は、常に職員と園児の係が見回ったり、水道使用メーターを記録したり、漏水予防に努めた。</p>	<p>通年</p>	<p>全園児 職員</p>	

				
--	---	--	--	--

**成 果**

- 園全体で共通理解を図り，節水，節電し、削減することができた。
- 園外保育で，神社，公園などの地域散策をしたことで，身近な自然に触れ，自分たちの住む町や地域に興味をもち，きれいにしなければいけないという環境に対する意識が高まってきた。
- 子どもたちにごみの分別の習慣がついてきた。

**次期計画への課題・問題点**

- 園外保育で，保護者も一緒にゴミ拾いを行い，保護者や地域にも活動を広げていきたい。
- 今年度に引き続き，節電，節水を目標にしていきたい。
- 身近な毎日の生活の中の節電・節水が無意識の中で実施できるように指導を続けていきたい。